

本物の略奪者は避難民ではない

【訳者注】このタイトル (It's Not Migrants Who are the Marauders and Plunderers) の意味は分かっていただけだと思うが、「避難民を犯罪者・略奪者であるかのように宣伝する悪い奴がいて、そいつが本物の略奪者だ」という意味である。この前後の、大量難民問題に関連するいくつかの論文と併せ読んでいただきたい。

By Seumas Milne

Information Clearing House, August 14, 2015



イギリスの指導者たちが、避難民や亡命者たちに対する恐怖と嫌悪を煽り立てる機会を、逃すはずはなかった。最初に、デイヴィド・キャメロンが「地中海を越えてイギリスにやってくる子どもたちの群衆」が作り出す脅威について警告した。次いで、彼の外務大臣 Philip Hammond がこれに調子を合わせた。

カレーの英仏海峡トンネルの混乱は、生命への脅威となる「うろつきまわる」避難民どもによって起こされたものだ、と彼は宣言した。保守派の新聞の応援を得て、彼は、もしヨーロッパが「アフリカからの何百万という難民を吸収」しなければならぬとしたら、「自己を防衛し生活水準を維持する」ことはできないだろうと警告した。

<http://www.theguardian.com/world/europe-news>

世界の最悪の戦争から、命の危険を冒してトラックや列車に飛び乗って、英国へ向かう亡命者たちについての、毎晩のテレビ報道と同様に、これも、地から湧き出た恥知らずどもへの、

腹の底からの恐怖を掻き立てるために考えられた、レトリックだった。

この夏、カレー（仏）で死んだ人々への人間的同情のひとかけらも、これらの大臣の口から聞かれなかった。しかし実を言えば、フランスのこの港は脇筋のようなもので、イギリスの国境警備を避けていくもっと有望なコースのために、悪徳業者に金を払えない数千の難民の、行きついた土地なのだ。 <http://www.theguardian.com/world/2015/jul/27/migrant-camp-fortress-calais-jungle>

ヨーロッパの本当の難民危機は地中海にある。18 万以上の人々が、今年だけで、イタリアとギリシャに水路で到着し、2,000 人以上が航海中に死に、そのほとんどが戦争に荒廃したリビアからだった。すでに経済危機に苦しんでいるギリシャへの衝撃は、特に大きい。

<http://www.theguardian.com/uk-news/2015/aug/01/calais-illegal-immigrant-uk-facts>
<http://www.theguardian.com/uk-news/2015/aug/01/calais-illegal-immigrant-uk-facts>

ギリシャの Kos 島では、2,000 人の、ほとんどシリアとアフガニスタンからの亡命者が、火曜日に一斉検挙され、秩序維持のためにスタンガンを使った機動隊と衝突した後、スポーツ・スタジアムに監禁された。ギリシャの島々にたどり着いた人数は、昨年以來 4 倍になっている。

しかしヨーロッパで最も惨状のひどいのは、追われて、トルコ、レバノン、パキスタン、またヨルダンに避難してきた数百万人である。このような地球規模のドラマに比べれば、カレーなどは演劇の舞台で人が死ぬくらいのものだ。イギリスは、亡命者にとっても不法難民にとっても、主たる目的地の一つではない——彼らの大多数は、英仏海峡トンネル内に隠れるよりも、旅券の期限を過ぎて滞在している。

昨年は、25,870 人が英国に避難施設を求め、10,050 人だけが受け入れられた。対照的に、スウェーデンはその 3 倍を受け入れ、ドイツは 20 万以上の避難所収容者と、更に新しい志願者がいる。またイギリスの施設志願者に与えられる手当の率、週 36.95 ポンドは、言われているほどの魅力には程遠い。フランスは 41.42 ポンドを払い、ノルウェイでは 88.65 ポンドである。

<http://www.theguardian.com/world/datablog/2015/may/11/which-eu-countries-receive-the-most-asylum-seekers>

<http://www.theguardian.com/uk-news/2015/aug/10/10-truths-about-europes-refugee-crisis>

圧倒的に多い合法的な難民労働者をイギリスに引き寄せているのは、ひどく統制のない労

働市場で、そこでは労働現場の危険保護が要求されないことが多く、これは暴力団にも大きな個人会社にも無慈悲に利用されている。

ガーディアン紙に報道された、全く合法的なりトニア人の農夫の例は、過酷で不安定な雇用の、太っていく下腹の反対側にあるものだ——労働者たちは、非人間的な労働条件、借金の縛り、それに暴力による脅しのもとで、高速道路のスーパーマーケットで働かせた、ケント（英）に本拠のある暴力団を訴えている。

もし大臣たちが、不法難民を使うことによって「賃金を下げようとする悪党雇い主」のことを少しでも気にしているなら、彼らは労働組合や労働者の権利を強化するだろう。ところが彼らは丸反対のことをやっている。そして彼らは、非人間化の文言を口実に用いて、避難所志願者の子供たちへの援助を削り、拒否された志願者を無期限に拘束し、不法労働者を、彼らを搾取する雇い主以上に、過酷に扱っている。

しかし共同体を分けることは、このような難民への過酷な扱いに対して、彼らを立ち上がらせることにもなる。最近数カ月、抗議行動が、ロンドンや他の都市で、失敗した避難所志願者や文書をもたない難民労働者を、逮捕しようとする英国国境局に対して、にわかにかつ起った。エレファントやカースルのような地域で、機動隊が導入されたのは、英国国境局の車が包囲され、地域の一部と見られていた人々の拘束を妨げようとする、怒った地方人や活動家たちによって、卵を投げつけられた後のことだった。

カレーの大混乱や、ヨーロッパ全域のもっと大規模な騒乱や苦難は、まさにイギリスのような北方の政府が必死に避けようとしている類いの管理された手続きによって、統制することができるだろう。

<http://www.theguardian.com/world/2015/may/10/european-commission-migrant-quota-plan-mediterranean-crisis>



しかしそれは、戦争や国家の崩壊によって生じた難民危機の、一時的な解決にしかならないだろう。そしてイギリスやフランス、それに彼らの同盟国は、これに火をつけたほとんどの戦争で、中心的な役割を果たしている。ヨーロッパにやってくる難民たちは、シリア、イラク、アフガニスタン、リビア、スーダン、パキスタン、ソマリア、それにエリトリアから来ている。

最近の独裁的なエリトリアの政権を例外として、これらはすべて、10年以上に及ぶ悲惨な、西側主導の戦争と介入の起った国家群である。リビアの場合には、イギリスとフランスの主導する 2011 年の爆撃作戦が、直接、内戦と社会的崩壊につながり、この国を、アフリカからの難民にたかる悪徳業者の主たる通路にしてしまった。そしてシリアでは、反政府グループに対する西側の資金援助、武装や訓練が——ISIS の台頭をもたらすと同時に——この国の崩壊に決定的な役割を果たした。

<http://www.theguardian.com/commentisfree/2015/jun/03/us-isis-syria-iraq>

もし現在のイエメンで、米・英の支援するサウジアラビアの爆撃作戦が、このまま続くなら、イエメンの亡命者が、この先数か月間、この地域の大脱出に加わるであろう。したがって、亡命の奔流を食い止めるための、イギリスやその同盟国のなしうる、最初の長期的な貢献は、中東や北アフリカでの、公然たる、また隠れた戦争を、仕掛けるのをやめることだ。それこそが本当の略奪行為である。

2 番目は、アフリカの開発に対する政策の大きな転換であろう。アフリカは、多分、現在の難民危機をリードするものではなく、アフリカ難民は決してヨーロッパの生活水準を脅かすことはない。しかし地球的な貧困の一つのグループとして、各 NGO の今週の主張によれば、アフリカは、西側の企業利益吸い取りや、ゆすりの借金返済や、一方向的な貿易“パートナーシップ”によって、資源が枯渇しつつある。もしこの略奪が続き、貧困の絶対数が、気象変化の深刻化とともに、上がり続けるならば、富裕な北に対する難民のプレッシャーは増す一方であろう。

<http://www.theguardian.com/commentisfree/2015/jun/03/us-isis-syria-iraq>

<http://www.healthpovertyaction.org/wp-content/uploads/downloads/2014/08/Honest-Accounts-report-web-FINAL.pdf>

<http://www.theguardian.com/commentisfree/2014/oct/09/europe-sea-death-migrants-war-inequality>

戦争やネオ・リベラルの世界制覇政策から生ずる、純粋な難民危機というものがある。脅しにもかかわらず、それはまだイギリスには達していない。しかし、フェンスとか、退去命令

とか、安全の改善などによって、ヨーロッパという砦が守れると考えるのは、幻想である。
本物の略奪やかつばらいをなくする方が、より効果的であろう。